

KWC第247回例会

栄区の神社仏閣を訪ね そして いたち川の散策

日時：2019年9月7日(土) 前半猛暑 後半曇り

集合：根岸線本郷台駅 10:00

コース：18,000歩 約13km (伊藤真自宅含め22,600歩)

- ① 本郷台駅→②本郷台駅前公園→③長光寺→④春日神社→⑤大誓寺→⑥正翁寺→⑦本郷ふじやま公園→⑧思金神社→⑨証菩提寺→⑩いたち川プロムナード→②本郷台駅前公園→①本郷台駅

参加者：高橋文L・平嶋SL・熊坂SL 含め合計29名 **赤字感想文** **青字一般参加**

- 1班：鈴木考班長・勅使河原・小作・熊坂SL・**奴田**・小野里・小島・平林勝・**奥村**・高山 10名
- 2班：滝川班長・吉越・神谷・仲・高橋文L・**青松**・福土・志村・古尾谷・吉田 10名
- 3班：桑原班長・平嶋SL・平石・大平・伊藤真・伊藤美・市村・畠・山下 9名

地図



上図北西③長光寺から東⑩思金神社まで6社寺お参り、途中本郷ふじやま公園で昼食、午後はいたち川プロムナードをウォーキングしました。残暑の中ではありますが、社寺と公園、そして川散策組み合わせ最高でした。

JR本郷台駅

高橋文L、平嶋SL・熊坂SLお迎え

今日は本郷台駅前祭



駅前広場祭の準備中でした。

今日は午前中猛暑午後曇り予報で、自宅出る前メンバー確認すると、小島レポーター参加で、写真撮影マイペースと喜んでいましたが、お会いするなり「今日は神社仏閣主体なので、伊藤さんレポーターよろしく」と頼られました。小島さんHP記載レポート多く感謝しており、今日は9月3日（火）根岸森林公園5kmウォーキングに続き小生がレポーターを引き受けることにしました。

直ぐ隣の広場で熊坂SLによるストレッチ

高橋文Lからコース説明と平嶋SL、熊坂SL、班長紹介



浄土真宗本願寺派寺院 長光寺 菅谷山醫王院

長光寺は、伊東九郎裕清の子道意が、砥並山の戦で討死した父の菩提を弔うため、当地に天台宗寺院として創建したといわれています。その後、親鸞上人の御旧跡巡拝のため東国に下向していた本願寺三世覚如が当寺に止宿、当寺の住持了諦が浄土真宗寺院に改め現山寺号としたといわれています。一時荒廃に帰していたのを僧善立（正保2年寂）が寛永12年（1635）に中興、塔頭良雲坊を擁していたといわれています。（HPより引用）



最初のお寺詣り急石段健脚スタート。この後も石段登り覚悟しましょう。



8月はウォーキング少なく皆さんお久振りです。社寺は木陰があって良い。今日は猛暑、給水充分取ってこの後頑張らしょう！小生帽子は出来る丈被らないが流石に今日は日射病対策で被る。帽子被ると額に汗がにじみ、眼鏡を外してタオルで汗を拭かなければならず大変。今日はポケットが沢山有るチョコキは止め、カメラはひもつけ首下げで対応しました。雨降りのカメラも大変ですが、猛暑も汗対策で苦勞します。

街歩きKWC連隊、赤帽さんの後に続け！



春日神社 ここも急石段ですね！



「新編相模風土記稿」によれば、永禄8年（1565年）に、小田原北条氏の公田の地頭職であった宇部左京亮（うべさきょうのすけ）の子息、宇部松菊丸が再建したとあり、社伝でもそう伝えている。しかし、はるかに古い平

安時代に山内首藤（やまのうちすどう）氏が創建したものとみなされている。

社殿は本来の春日造りでなく、権現造りで、本殿部分は覆屋（ふくおく）で、のぞき窓から、江戸時代末建立



といわれる本殿を見ることができる。本殿は「中宮」と呼ばれ、見事な彫刻が四面を飾っている。拝殿が瓦葺きで本殿覆屋が銅葺きである。権現造り社殿の本殿部分が覆屋となっていて中に本殿を納めているのは北野神社（鎌倉市山崎）でも見た。富岡八幡宮（横浜市金沢区富岡東4）の覆い屋ほどではないが、中の本殿が垣間見れる方だろうか。

拝殿屋根には唐獅子と蕾付き牡丹の花の飾り瓦が上がるが神社で蕾付き牡丹の花の飾り瓦は初めて見た。まるで、鎌倉宝戒寺本堂の飾り瓦のようだ。蕾付き牡丹の花の飾り瓦は東大寺、奈良薬師寺、中宮寺などの寺でしか見ていないからだ。（HPより引用）

大誓寺 今日社寺仏閣、石段登りが多いですね！

浄土宗寺院の大誓寺は、西光山普應院と号します。大誓寺は、梅沢与次右衛門勝国が、岩瀬大長寺七世伝誉利玄（明暦2年1656年寂）を開山に招いて創建したといひます。当寺の本尊阿弥陀如来像は徳川氏の家臣加藤三左衛門が寄附したもので、旧鎌倉郡六阿弥陀のうちの一つだといひます。



木像聖徳太子立像一軀

聖徳太子（五七四～六二二）が、十六歳の時、父用明天皇の病氣平癒を祈った姿を写したと伝えるいわゆる孝養太子像です。

像には墨書の銘文があり、文明元年（一四六九）に弘円（一四四二～一五二九）が造立し、貞享四年（一六八七）に修理されたことがわかります。作者の弘円は鎌倉に仏所を構え、東国で活躍した仏師で、十数件の事績が確認されています。像は面部・着衣部ともに柔軟な写実性を欠いていますが、造立年代と作者の明確な室町彫刻の佳作として、資料的価値が高い作品です。（横浜市教育委員会掲示より）（HPより引用）

大誓寺のお庭は広い

何の実？

木々も多い



日陰で休憩する人と・・・？

J R鉄道下を潜り抜けます



青空白い雲に百日紅の花 しかし暑い！

市町村研修センター 立派な建物です



神奈川県職員キャリア開発支援センター
 神奈川県立国際言語文化アカデミア
 公益財団法人神奈川県市町村振興協会
 市町村研修センター



10:50
 本郷台公園日陰で
 給水タイム

本郷台雨水貯留浸透施設 素晴らし！

美味しそう～

本郷台公園雨水貯留浸透施設 設置 平成4年度
道路局 河川管理課

昔は緑が多く、雨水は地下にしみこんだり、池や田んぼにたまっていました。今は、地表がアスファルトなどでおおわれて、雨水が川にどっと流れこむようになり、川があふれやすくなっています。

そこで、この公園の広場は公園内に降った雨が一時的に広場表面にたまる構造になっています。

この施設は、雨水を川に一気に流さずに徐々に流すことで、洪水の危険を少なくする働きをします。

昔は…… 今は……

施設概要図

配置図

| | |
|-------|--------------------|
| 貯留施設 | 710 m ² |
| 雨水調整槽 | 0.9 m |
| 浸透側溝 | 3200 m |



この町のお庭には百日紅が多い

猛暑青空にこの庭木元気です、何の木？



曹洞宗 本郷 正翁寺



由来：1601年韓嶺良雄大和尚によって開かれました。前身は正翁庵といい、室町時代の後期、鍛冶ヶ谷大谷家の開基により、聖月但公和尚によって開かれた。400年以上の月日が慣れ、現在では25代目の素明大和尚が住職しています四百年以上の月日が流れ、

現在では二十五代目の素明大和尚が住職しています。(HPより引用)

曹洞宗の古寺で本殿は立派でしたが法要中で外から撮影。

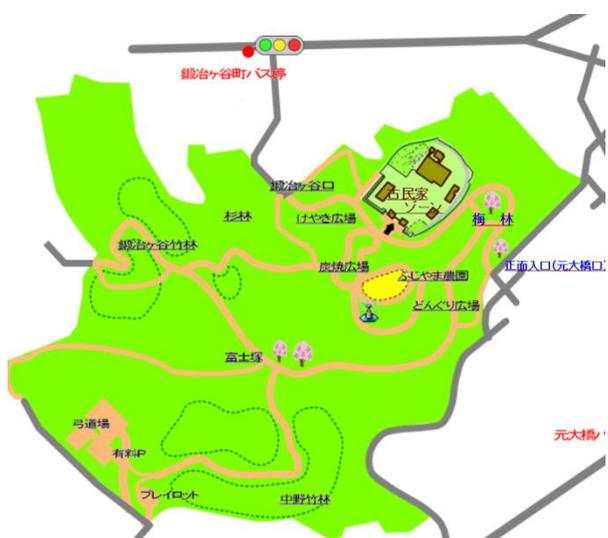


本堂では法要中なので玄関の石段で集合写真を撮りましたが、左側の方日陰になりました。失敗！



本郷ふじやま公園

旧小岩井家 ～名主の屋敷～



みどり豊かな里山と江戸時代の古民家を持つ公園です広さは約9ヘクタールあります。
竹林は2か所で2ヘクタールあり、四季を通じて生命力あふれる緑を保っています。
古民家ゾーンは里山と鍛冶ヶ谷の鎮守八幡さまと杜とに囲まれ往時の原風景を残しています。
施設として、旧小岩井家住宅の主屋、表門（長屋門）があり昔を知ることのできる場となっています。
手づくり体験の出来る工作棟があり公園が主催する教室を開催しています。希望者を公募しています。
そのほか炭焼き窯や農園があります。

旧小岩井家住宅主屋及び長屋門は、鍛冶ヶ谷村の名主を務めた「小岩井家」から寄贈をうけ、移築復原された建物です。江戸時代末期に建てられたこの建物は、主屋に式台を付けた座敷が設けられるなど一般の農家に見られない格式ある造りを持ち、長屋門とあわせて、創建当時の姿に復原されています。平成14年11月には、主屋、長屋門（表門）ともに市指定有形文化財に指定されました。

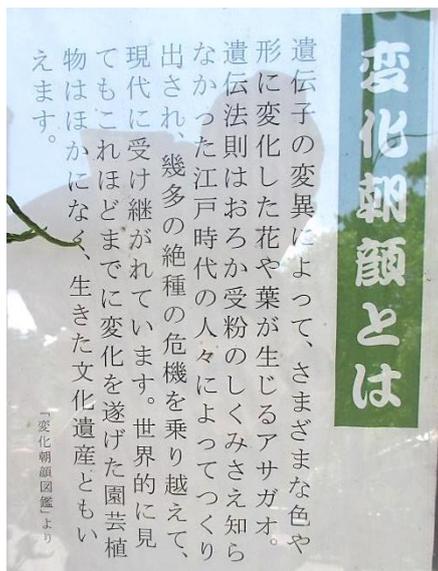
古民家ゾーン内には、復原された主屋、長屋門の他、各種体験教室などが開かれる工作棟等があります。江戸時代の名主の屋敷の雰囲気は今に残す主屋内は、見学いただけます。（HPから引用）

変化朝顔 数種ありました ユキアサガオ？

変わったアアガオです



アアガオ育成、旧小岩井家の歴史や村のお話を詳しくして戴いたお方



石の置物



この後裏山に登り昼食。

昼食 11:45~12:30

食後写真：それぞれ日陰を選ばれて

殆ど食後の休憩中でした



木陰があちこちに有り、全員撮影は出来ませんでした。悪しからずお許しの程。



食後の登りはきついが、男性軍隊列、緑に映え整列様になっています！



木陰山道歩き

富士塚へのみち 手入れの行き届いた孟宗竹林日陰道ウォーク最高！

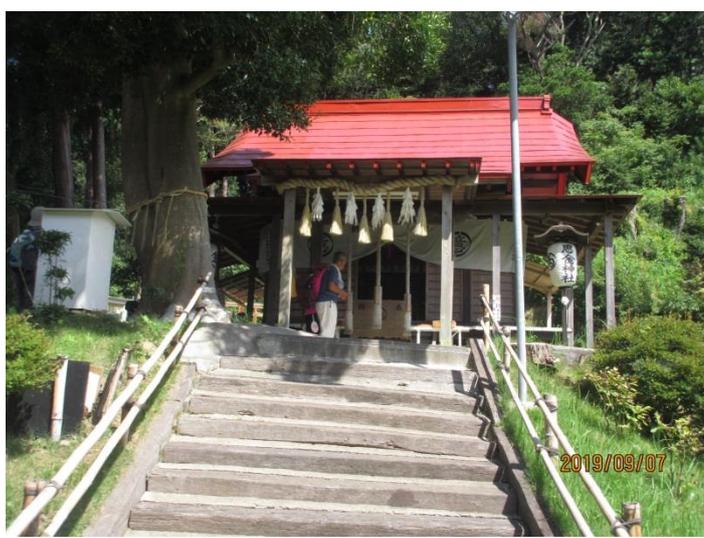


青空と白雲に浮かぶ富士山が見えました！



恩金神社 今日一番東の神社です。

急石段を登る。傾斜40度位ありそうだ。

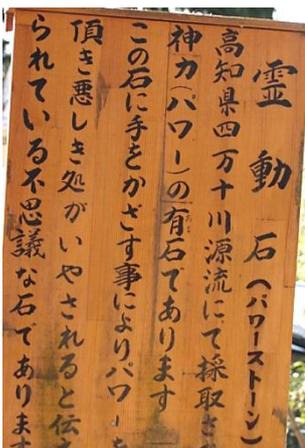


浜市栄区上郷町に鎮座する恩金神社は八意思金大神を祭神として祭っている。八意思金大神は智慧の神で、天の岩戸事件や天孫降臨にも大活躍した高天原の名参謀長である。恩金神社は昭和43年(1968年)頃から白山神社に

合祀されるようになり、昭和49年(1974年)に創建された。現在の社殿は昭和3年(1928年)にこの地に建立された白山神社の社殿を昭和50年(1975年)に先代宮司が譲り受けた。鎌倉石の階段が磨り減って、上にコンクリートをかけていることから、古くからこの社地が神社としてあったことが伺える。階段上の社務所に住むようになったのは昭和53年(1978年)からだという。

白山神社は村内の氏子が分裂して八軒八戸の奥の光明ヶ谷字神戸(旧上郷町1404番地、現在は長倉町)からこの地に分祀した。その後、周辺が大規模な宅地開発がなされた際に、白山神社は東本郷町の団地内に遷座し、そのときに合祀されて旧に復し、社殿がこの地に残された。それに手を加えて恩金神社の社殿としている。横から入る社殿はここだけだろう。(HPから引用しました)

霊堂石(パワーストーン) お2人石を撫でてぐるり、パワーを戴きました？



急石段を下ります 13:30 tamaya コンビニに入りアイスクリームで休憩 いたち川沿いを歩きます



以前KWC体験済です
川に赤橋と木々が有、猛暑のウォークに最適です。

證菩提寺 高野山 真言宗



掲示板を写真に収めました・・・読みにくいかもしれませんが、悪しからず。

しょう ぼ だい
證 菩 提

高野山真言宗

五峯山一心院といひ古義真言宗高野山派の古刹である。江戸時代には手広村青蓮寺の末寺だったが、古くは「無量寿寺」という独立の寺だったと伝えている。『吾妻鑑』建長二年(1250年)四月の条に「證菩提寺」と記し、『鎌倉志』には「無量寺」と載せている。

寺の由緒については、治承四年(1180年)八月、配流の地伊豆をのがれた源頼朝は北条時政・土肥実平等の援けを受け石橋山で挙兵した。頼朝方は三百騎、迎えうつ平家方大庭景親・保野景久等の三千騎と戦って敗れた。この時三浦介義明の弟岡崎四郎義実の嫡男で二十五才の若武者佐那田与一義忠が暗闇の中で保野景久と一騎討ちをして戦死した。頼朝はその間に闇にまぎれて戦場をはなれ、上総に逃れたと『源平盛衰記』に記す。その後頼朝は千葉・三浦・和田等の味方を得て鎌倉に入って一応の安泰を得ると、自分の身がわりのようになって戦死した佐那田与一の忠義に報い、その追善供養のためにこの寺の建立を発願して、文治五年(1189年)頃に完成した。当時の本郷地区は山内庄本郷と呼ばれ、鎌倉の辰(丑寅=東北)で鬼門(災難の来る方向)に当るので、忠義の佐那田を祀って供養すれば、必ず幕府鎮護になるという理由という。

じ
寺

(高野山真言宗) 上郷町1864番地

寺の規模は、東は坂中(山手学院入口)及び小槻峰(尾月町)、南は矢沢木戸口(フローラ桂台)西は迎洲橋(稲荷橋)、北は竹後大道(元大橋)という広大な境内に、阿弥陀堂を中心として大日堂・中房・慈台房・実応房・智台房など七堂を配した幕府鎮護の大寺であった。はじめ寺の中心が阿弥陀堂だったので、阿弥陀の漢訳の無量寿を寺号としたらしいが、与一の父岡崎四郎の没後、これを大日堂に祀り岡崎堂と呼んで寺の中心が次第にこれに移ったので義実の法名「證菩提」を寺号とするようになった。

頼朝の死後は当初の意味が薄れ、寺は次第に衰退し、尼将軍政子の死後は更に衰え荒廃したので、三代執権北条泰時の娘で小菅ヶ谷に屋敷があったという小菅ヶ谷殿が施主となって、嘉禎二年(1236年)八月に「本郷新阿弥陀堂」が建立供養されたと『鶴岡社務職次第』に見えている。嘉禎三年は北条政子の十三回忌に当たり、北条家は法要を営み、翌年に「一切經五千余部」を三井寺園城寺に寄進しているから、この新阿弥陀堂建立も北条政子の追善のためと考えられる。現證菩提寺には新・旧両阿弥陀堂の二体の阿弥陀如来がある。

栄区役所

平成4年3月

四国八十八ヶ所巡りが1分で回れます！



せせらぎを散歩する！ 気分最高！

小橋を渡るもいいよ



先日の台風でここも被害に

この赤い橋は？



綺麗なカワセミ、とまり木でカメラを向けても逃げません。慣れているのでしょう。



いたち川の「大いたち橋」で百日紅を背景に集合写真26名おられます



4人モデルさん笑顔が百日紅に映えます！ 川には洒落た動物石像が飾られています&水面に映る木々



錦鯉も美体を見せて安らぎ中です



カワセミ君もいました



本郷台駅子供遊園地で熊坂S Lクールダウン 高橋文L「お疲れ様でした。18,000歩13kmとします」



14:50 本郷台駅前祭最中 ワンちゃん

広場シートガラガラです まだ暑いよね!



希望者12名でアフター海鮮道楽「粋活」

18:00外はまだ明るい、高橋文Lお疲れ様でした



編集後記：猛暑でした。帽子をかぶると汗が垂れる。帽子を脱ぎ眼鏡を外してタオル、大変です。後半曇りで助かりました。猛暑の企画の中で、ふじやま公園昼食やコンビニ休憩。後半は木陰もあるいたち川散策。猛暑でしたが社寺と公園川歩きの組み合わせ、素晴らしいウォーク企画でした。猛暑の中高橋文L、平嶋S L、熊坂S L下見を含めご苦労様でした。社寺の説明文HPからそのまま記載しました。少々長い文章もありますがお許しの程。いつもの拙いボケ防止用日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述があるかもしれませんが、悪しからずお許しの程。